

兵庫県医師会医療支援チーム（第37陣）「宮城県災害支援現地報告」

豊岡市医師会 安田 和人

医師1名、看護師2名、事務局2名、計5名で6月3日に仙台入りしました。仙台空港上空で、高速道路を境に南北に果てしなく広がる被害地を見たのち、その高速道路を車で石巻に向かいました。ベース地となる石巻中学校の避難所にはまだ140名弱、我々が受け持つエリア4の中の6か所の避難者さんはまだ500名超おられました。慢性疾患の治療と感染症、関節の痛みなどが主体でした。また精神的に不安定になっておられる方も散見されました。高齢者で動きも不自由な方は、十分ではないながらも食事、ボランティアの援助、医療などが受けられる避難所を希望され、当選しても仮設住宅への移動を避けておられる方も多いと聞きました。今後はこのような弱い立場の方にどのような援助ができるかが問題点であろうと考えます。ただ今、我々できることは目の前に来られた患者さんを少しでも楽な気持ちにすることではないかと考え3日間診療してまいりました。大きなことはできませんでしたが、このような機会を与えていただき、運営いただいた医師会長はじめ役員の先生方、スタッフの皆様、ありがとうございました。また兵庫県医師会の安慶名さん、姫路市医師会の嶋田さん、看護協会の南看護師、江本看護師にお礼申し上げます。

